

『 指 導 計 画 』

	集団生活の行事	こどりの森イベント	制作	遊び／手遊び	うた
4 月	・入園式 ・誕生会	・さくらまつり	・春をイメージするもの	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りボール でのまど入れ ・さかなつり ・お絵かき ・おりがみ ・いとまき ・ぐーちょき ぱーで なにつくろう ・とんとんとん ひげじさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちゅうりっぷ ・こいのぼり ・おかあさん ・とけいのうた ・すてきなパパ ・かたつむり ・かえるのうた ・たなばた ・うみ ・はなび ・十五夜さん ・山のおんがく家 ・とんぼのめがね ・やきいも グーチーパー ・クリスマスソング ・お正月 ・雪 ・まめまき ・ゆきのこぼろず ・うれしい ひなまつり ・おはながわらった
5 月	・こどもの日 ・母の日	・こどもの日 ・母の日	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・こいのぼり・かぶと ・母の日プレゼント ・時計 		
6 月	・遠足 ・父の日	・時の記念日 ・父の日	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・父の日プレゼント 		
7 月	・七夕 ・お泊り保育	・七夕	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・夏をイメージするもの ・七夕かざり ・金魚ねぶた ・うさぎとつき 		
8 月	・ねぶたごっこ	ねぶたまつり	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・敬老プレゼント 		
9 月	・運動会・十五夜 ・敬老の日	・十五夜 ・敬老の日	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・秋をイメージするもの ・かぼちゃ 		
10 月	・社会見学 ・秋の遠足	・ハロウィン	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・はっば 		
11 月	・焼いも会	・もみじまつり	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・クリスマスかざり ・トナカイ・サンタクロース 		
12 月	・クリスマス会 ・おゆうぎ会	・クリスマス	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・冬をイメージするもの ・お正月かざり ・おにのめん ・まめいれ 		
1 月	・お正月 ・新年会	・お正月	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・おひなさま 		
2 月	・節分	・節分	<ul style="list-style-type: none"> ↓ ・春をイメージするもの 		
3 月	・ひなまつり ・卒園式	・ひなまつり			

『制作』の要点として

☆ 全年齢に共通する留意点

- ・保育者の言動は、子どもが美しいものを感じたり、よいものを選んだりすることに強い影響を及ぼすので注意する
- ・タイミングよく誉める(上手・すごいねなど)
- ・出来たときの達成感を共感する

☆ 各年齢の留意点

- 0・1歳児
 - ・子どもが描いた絵に、保育者が額をつけたりアレンジして作品風に仕上げる
 - ・手形や足型を取って保育者がアレンジしてプレゼントする
 - ・子どものやりたい気持ちを大切にしながらも、手伝いながら一緒に進めていく
- 2歳児
 - ・用具の使い方・安全に注意し、子どもが自分でやりたい！という気持ちを大切にしながらある程度見守ったり手伝いながら一緒に進めていく
- 3歳児
 - ・用具の使い方・安全に作れるように見守る
 - ・話をしながら楽しく作れるように配慮し、ある程度見守り手伝ったりする
- 4・5・6歳児
 - ・話をしながら制作の邪魔にならないようにある程度見守り、必要に応じ手伝う

☆ ことりの森ならではの配慮事項

- ・回復期の子には作りたいという気持ちを大切に、素材・色・形、用具も自分で選択出来るようにし、イメージが豊かに湧くように話しながら関わっていく
- ・重症度の高い子や年齢的に小さい子へは保育者がある程度手伝ったり、作ってプレゼントする
- ・年齢的に大きい子が小さい子に手伝ったり作ってプレゼントしたりし、同室児との関わりが出来るように配慮する

『音楽・歌』の要点として

☆ 0歳児の音楽～心身の発達の過程と深く関わる

- ・新生児 強い音への反応、保育者の子守唄で眠る
- ・2ヶ月 音のする方を見る、母親と他人の声の聞き分けをする
- ・3・4ヶ月 そばで歌うと元気にはしゃぐ
- ・5・6ヶ月 ガラガラ等音の出るものを喜ぶ
- ・6～12ヶ月 音楽に合わせて体を揺する

☆ 1～2歳児の音楽

- ・歩行の確立により行動範囲が広がり、体験領域が対社会的となり受動的から能動的になる
- ・言葉の獲得が歌という意図的表現につながる
- ・曲選びのポイント
 1. テンポの速くないもの
 2. 歌詞は短くメロディーの単純なもの
 3. 模倣しやすいもの
 4. 言葉もメロディーも反復性を持ったもの
- ・1～2歳児の総合的音楽活動としては
 1. リズムに合わせて手を打ったり体を動かす
 2. 皆と一緒に歌う
 3. 保育士の歌を聞く

☆ 3・4・5歳児の音楽 ～ 大人の環境設定によってどのようにもなりうる

- ・自我の目覚めにより総合的音楽活動が可能になり歌う・踊る・弾く・たたく・聞くことが出来る
- ・発音・発声の成長ならびに模倣力がついてくる
- ・歌詞がはっきりし、歌詞の内容も理解できるようになり、正しいリズム音程もしっかりしてくる
- ・曲選びのポイント 現代曲ばかりではなく、大正末期～昭和にかけての美しい童謡も
- ・各領域との関係について
 1. 自然では『もみじ・うみ・春が来た』など
 2. 健康ではリズムを主に活用する
 3. 言語ではわらべ歌の活用が結びつく

☆ こどりの森で音楽を効果的に使するためには

- ・一時的に利用するため入室時分離不安があり、泣く子へは一時的にでもほっとし安心感につながるよう、保育園で歌っている歌や聞いた事がある歌、その子が知っている歌（アニメソングなど）を保育者が歌ったりする
- ・行事・イベントに関心が持てるよう、行事・イベントの歌を歌う
- ・安心して休息が取れるよう、静かにゆったりしたテンポで子守唄や歌を歌う